

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-162	高等学校	外国語科	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
109 文英堂	CⅡ 109-901	New Edition GROVE English CommunicationⅡ		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示された目標を達成するにあたり、以下の点を編修の基本方針とした。

- ・男女共通に関係のある話題を選び、また学習者一般の生活環境に合うよう留意した。
- ・題材の内容は、異文化、環境問題、社会活動、科学、歴史、物語など、広く各分野におよぶように留意し、広いものの見方・考え方の養成に努めた。
- ・内容は、特定の宗教または世界観に偏らないように努め、時代の要請にこたえ、言語や文化に対する関心を高め、国際理解を深めるようにした。
- ・明るいユーモアを含む教材を加えて、学習を楽しめるものにさせ、英語への関心を高めるようにした。
- ・身につけた英語を実践に移すことを視野に、聞く、読む、話す[やりとり]、話す[発表]、書く、の5つの領域の言語活動を有機的に関連づけて指導する場を設けた。
- ・英語を通してのコミュニケーション能力を養成するために、随所にリスニングやスピーキングの機会を設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
LESSON 1 Breakfast Around the World	さまざまな国や地域の典型的かつ伝統的な朝食メニューについて読み、幅広い教養を身に付ける場とした(第1号)。	8～12 頁 15 頁
LESSON 2 What Makes You a Good Street Dancer?	身近なスポーツであるダンスについて読み、豊かな情操を培い、健やかな身体を養うきっかけを持つ場とした(第1号)。	20～24 頁 27 頁
LESSON 3 Volunteering and Music Bring Us Together	ボランティアと音楽を結び付ける試みについて読み、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うきっかけを持つ場とした(第3号)。	32～36 頁 39 頁
LESSON 4 Zoos—Roles and Challenges	動物園の役割や活動について知り、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養う場とした(第4号)。	44～50 頁 53 頁

LESSON 5 Can Paper Change the Future?	紙について、その歴史や環境問題との関係など、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う場とした（第1号）。	60～66 頁 69 頁
LESSON 6 Our Advanced Network Society	インターネットの利点や問題点、デジタル技術の発展に伴い未来はどのように変化するかを考え、真理を求める態度を養う場とした（第1号）。	74～80 頁 83 頁
LESSON 7 Connecting with People	人とつながることの大切さについて読み、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う場とした（第3号）。	88～94 頁 97 頁
LESSON 8 Practice Makes Perfect: A Japanese Baker's World Victory	あるパン職人が努力して成し遂げた結果について読み、勤労を重んずる態度を養う場とした（第2号）。	102～108 頁 111 頁
LESSON 9 The World Without Honeybees	身近な昆虫であるミツバチの減少が人間の生活にどのように影響するかを読み、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う場とした（第4号）。	118～124 頁 127 頁
LESSON 10 The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland	スコットランドの象徴であるフォース橋の歴史について知り、他国を尊重し、国際平和の発展に寄与する態度を養う場とした（第5号）。	134～140 頁 143 頁
FOR READING 1 Salty Coffee	小さな行き違いから始まった男性と女性の物語を読み、登場人物のそれぞれの心情を想像し、豊かな情操を培う場とした（第1号）	148～151 頁 153 頁
FOR READING 2 Rickshaw Girl	家族を大切に思い、勇気を持って行動に出た少女の姿を通して、正義と責任、男女の平等を重んずる精神を養う場とした（第3号）。	157～163 頁

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色	
・巻を通じて、英語でコミュニケーションをとる際に役立つよう、生徒にわかりやすい平易な英語を心がけた。 ・海外のみならず、日本の伝統文化を尊重し、自国の良さにも目を向けるよう配慮した。 ・英文を系統立てて読む訓練をするために、Reading Skills 1-4 を設けたほか、英文を読むためのスキルや、前置詞、接続詞に関する解説を掲載した。 ・思考力・判断力・表現力を育成するために、巻を通じて2回の CLIL ページを配した。 ・リスニングやスピーキングの際に必要な英語独特の音声変化や表現を確認するために、つづりとアクセントのパターンに関する解説や全5回の SOUNDS AND FUNCTIONS を設けた。	

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-162	高等学校	外国語科	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
109 文英堂	C II 109-901	New Edition GROVE English Communication II		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「英語コミュニケーション」という科目名が示すように、コミュニケーションのひとつの方法として英語を用いることを目標に以下の点に考慮し、本書の特色とした。

(1) 言語材料について

- ・言語材料は、広くアメリカで用いられる表現、語法、綴りを中心とした。
- ・題材の形式は、説明文、解説文、ネット記事、会話、物語形式などを採用した。
- ・言語材料の使用に当たっては、指導要領に基づき、基本的な文構造・文法事項を用いた。
- ・教材の配列にあたっては、段階的に1課のパート数と、1パートの語い数が増えるように全10課の正課を配したほか、特にリーディングをねらいとする教材を2つ置いた。

(2) 教科書の構成 (LESSON 1～LESSON 10)

① 導入 (見開き)



Lesson 1 Warm-up: Listen and choose the correct food for each blank. (Breakfast, Lunch, Dinner)

Lesson 1 Main Text: Breakfast Around the World. Reach Your Goals: Write a paragraph about breakfast in your country.

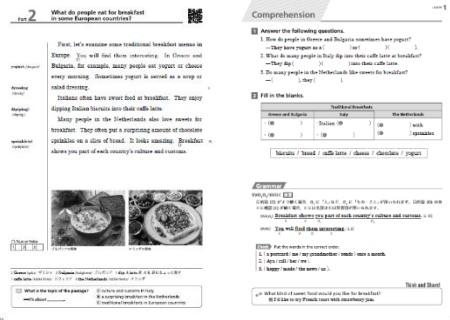
④ Reach Your Goals

単元で学習する事柄を示すことにより、学習の道筋をつけやすくした。

⑤ Warm-up

本文に関連し、かつ学習者の日常生活と密接に関わる事柄を確認し、ペアでやり取りをすることで、本文への動機付けを行う。

② 本文 (見開き)



Lesson 2 Main Text: What do people eat for breakfast in some European countries? (France, Germany, Italy, Japan, etc.)

Lesson 2 Comprehension: Answer the following questions. (1. How do people in France and Belgium sometimes have breakfast? 2. What do many people in Italy like to eat for breakfast? 3. How do many people in Japan like to eat for breakfast? 4. How do many people in Germany like to eat for breakfast? 5. How do many people in Japan like to eat for breakfast?)

③ ガイド文 答えを探しながら本文を読むことで、内容理解の手助けとなる設問を設置した。

④ 側注 新出語と発音を表記したほか、本文の内容理解を問うリスニング問題 (True or False) を設けた。

⑤ What is the topic of the passage? 各パートの主題を問う問題を設けた。

⑥ 脚注 初出の固有名詞、意味のとりにくい表現、慣用表現などを置いた。

③ 本文後（見開き）

- ③ **Comprehension 1** 本文の内容に関して、英語でやり取りするきっかけとなる英問を 3 問設けた。
- ④ **Comprehension 2** 空欄補充やイラスト・表を用いて形式を工夫した本文の内容に関する問題を用意した。
- ⑤ **Grammar** 本文で扱う文構造・文法項目の簡潔な説明と確認問題を置いた。
- ⑥ **Think and Share!** 本文に関連して、意見や考えをほかの人と共有する場を設けた。

④ 本文後(見開き)

- ⑦ **Review and Summarize** 課全体の内容を振り返り、まとめた文を完成させる問題と設けた。
- ⑧ **Your Turn!** 課の内容を実践的に活動する場を設けた。
- ⑨ **One Step Further** 課の内容に関連して読む、聞く、話す[やり取り], 話す[発表], 書く の 5 領域から複数の活動を統合的に扱う場を設けた。

⑤ Grammar for Communication

課で学んだ文法事項を活用し、話す[やり取り], 話す[発表]等の活動を行う場を設けた。

2. 対照表

(1)〔知識及び技能〕英語の特徴やきまりに関する事項		
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
Check It! (つづりとアクセントのパターン①②) SOUNDS AND FUNCTIONS 1-5	ア 音声 (ア) (イ) (ウ)	85 頁, 113 頁, 17 頁など
巻を通じて 726 語の新出語 (WORD LIST A, B, C 参照)	ウ 語, 連語及び慣用表現 (ア)	全般 180-187 頁
巻を通じて連語や慣用表現は各課の脚注に示し、巻末のリストにまとめたうえで例文を付した。	ウ 語, 連語及び慣用表現 (イ) (ウ)	全般 174-179 頁
各レッスンの本文, Grammar, Check It! (前置詞, 接続詞), Reading Skills 1-4	エ 文構造及び文法事項 (ア) (イ) a-h	9 頁, 131 頁, 166 頁など

(2)〔思考力, 判断力, 表現力等〕 情報を整理しながら考えなどを形成し, 英語で表現したり, 伝え合ったりすることに関する事項			
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当
LESSON 1 Breakfast Around the World	・世界の国々の朝食について読んで理解し, 自分自身の経験や考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容について, スピーチして伝える。(イ) ・日本の郷土料理についての情報を書いて伝える。(ウ)	8～13 頁 14 頁 15 頁	9
LESSON 2 What Makes You a Good Street Dancer?	・ストリートダンスの特徴について読んで理解し, 自分自身の経験や考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容をもとに, 情報をまとめて会話する。(イ) ・e スポーツについての記事を読み, 自分の考えを適切に表現する。(ウ)	20～25 頁 26 頁 27 頁	9
LESSON 3 Volunteering and Music Bring Us Together	・音楽をきっかけに参加するボランティア活動について読んで理解し, 情報や自分自身の経験, 考えを表現する(ア, イ) ・本文の内容をもとに, 情報をまとめて会話をする。(イ) ・ボランティア活動の応募のメールを書いて, 要望を伝える。(ウ)	32～37 頁 38 頁 39 頁	9
LESSON 4 Zoo—Roles and Challenges	・動物園の果たす役割について読んで理解し, 情報や自分自身の経験, 考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容をもとに, 役になりきって情報を伝える。(イ) ・動物園について, 肯定的な意見もしくは否定的な意見をまとめ, 伝え合う。(ウ)	44～51 頁 52 頁 53 頁	11
LESSON 5 Can Paper Change the Future?	・紙の歴史や用途, 環境への影響について読んで理解し, 自分自身の経験や考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容をもとに, 情報をまとめて会話する。(イ) ・和紙作りについての情報を活用しながら, 自分自身の考えを伝える。(ウ)	60～67 頁 68 頁 69 頁	11
LESSON 6 Our Advanced Network Society	・デジタル社会の現状や問題点, 未来について読んで理解し, 自分自身の経験や考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容をもとに, 情報をまとめて伝え合う。(イ) ・AI が活用される未来についての情報を活用しながら, 身の回りに起こりうる変化を予想して伝える。(ウ)	74～81 頁 82 頁 83 頁	11

LESSON 7 Connecting with People	・人と人がつながり合うことの大切さについて読んで理解し、情報や自分の考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(イ) ・友だちどうしの SNS 上のやりとりを参考に、自分自身の経験を伝える。(ウ)	88～95 頁 96 頁 97 頁	11
LESSON 8 Practice Makes Perfect: A Japanese Baker's World Victory	・大澤秀一さんの世界大会までの努力とパン作りへの情熱を読んで理解し、自分自身の経験や考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(イ) ・印象に残った行事や体験についての感想を書いて伝える。(ウ)	102～109 頁 110 頁 111 頁	11
LESSON 9 The World Without Honeybees	・ミツバチの恩恵や絶滅の危機について読んで理解し、情報や自分の考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容をもとに、情報を伝える。(イ) ・絶滅危惧種についての情報をまとめ、スピーチとして伝える。(ウ)	118～125 頁 126 頁 127 頁	11
LESSON 10 The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland	・スコットランドの象徴であるフォース橋の歴史について読んで理解し、情報や自分自身の経験、考えを表現する。(ア, イ) ・本文の内容をもとに、情報を伝える。(イ) ・時刻表や地図をもとに、自分たちの計画について伝え合う。(ウ)	134～141 頁 142 頁 143 頁	11
FOR READING 1 Salty Coffee	・塩味のコーヒーをきっかけに始まった男性と女性の物語について理解し、登場人物の心情を読みとる。(ア)	148～152 頁	5
FOR READING 2 Rickshaw Girl	・父親を助けようと、少女が行動を起こし、失敗しながらも家族の大切さを知る物語の要点をとらえ、登場人物それぞれの心情を読みとる。(ア)	157～164 頁	8

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項		
① 言語活動に関する事項		
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
巻を通して「英語コミュニケーション I」における学習内容を用いた活動を設けた。	ア 「英語コミュニケーション I」の 2 の(3)の①に示す言語活動のうち、「英語コミュニケーション I」における学習内容の定着を図るために必要なもの。	全般
各課 Warm-up, True or False, One Step Further	イ 聞くこと	全般

各課 本文, 脚注, One Step Further	ウ 読むこと	全般
各課 Warm-up, Think and Share!, Your Turn!, One Step Further, Grammar for Communication	エ 話すこと [やり取り]	全般
各課 One Step Further, Grammar for Communication, CLIL	オ 話すこと [発表]	全般
各課 One Step Further	カ 書くこと	全般

② 言語の働きに関する事項

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所
	言語の使用場面	言語の働き	
各課 Your Turn! One Step Further Grammar for Communication	ア 言語の使用場面の例 (ア) - (ウ)	イ 言語の働きの例 (ア) - (オ)	14 頁 15 頁 16 頁など

英語コミュニケーションⅡの「内容の取扱い」

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
全体を通して、5つの領域の言語活動を複数結び付けた統合的な言語活動を意識して扱った。	コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、総合的に指導するものとする。	全般 One Step Further